

2004年度1学年国語総合 2学期期末考査

この問題用紙はファイルにのこして保存すること。(とじていない場合はファイル提出不合格となる。)

字は丁寧に書くこと。極端なくせ字、汚い字、読みとれない字の場合は減点の対象になる。

漢字を使うこと。常用漢字を書かない場合、減点の対象になる。

文章を書くときには句読点「、」や「。」を絶対に忘れないこと。 ついてない場合は減点の対象になる。

全ての解答は解答用紙の決められた解答欄に記すこと。

次の問題について後の問いに答えなさい。

ハヤリとシキタリには似たところがある、といった驚かれるだろうか。

普通、ハヤリとシキタリ、つまり流行と(シ)カンシユウは対照的・対立的な文化のあり方だとされている。両者は時間的な持続性の点で大きく(シ)コトなり、カンシユウ(シキタリ)が何世代にもわたって(ア)継承されてきた行動様式であるのに対して、流行(ハヤリ)はごく短いサイクルで生成消滅するもの、というのがおそらく一般的な認識であろう。あるいは、カンシユウは世代間でタテに伝承されるが、流行はヨコに(イ)伝播する、といわれることもある。こうした見方は必ずしも間違っていないわけではない。しかし、それにもかかわらず、ハヤリとシキタリには共通点があり、それについて考えることは(シ)ムエキではない、と思う。

ハヤリとシキタリの共通点の一つは、どちらも(イ)普遍性を欠いた、その意味で(ウ)ローカルで(エ)特殊な文化だという点である。

シキタリと呼ばれるものがローカリティと結び付いていることはあらためていうまでもないだろう。シキタリは、「○○のシキタリ」というぐあいに、ほとんどの場合、それを保持する集団を特定して言及される。そしてその言い方は、その行動様式が「○○」の外部では通用しないことを半ば含意しているといつてもよい。日照りに雨ごい踊りを踊るのは○○ムラのシキタリではあるかもしれないが、隣ムラもそうだとはいえない。年取り魚として大みそかに鮭を食べるのは東日本本のシキタリであって、関西や中四国・九州はそうではない。「日本のシキタリ」はロシア人にもアメリカ先住民にも無縁であるから、彼らは盆に帰省したりしない。仕事は真夏でもスーツにネクタイで、という事務系サラリーマンのシキタリは、農家にとつてはまったくばかげている。

ハヤリは、() 地域や既存の社会集団を超えて広がるもののように思われているかもしれない。しかし、実際には限られた範囲、例えば地域・年齢・性別・身分・階層・職業等々によって限定された集団内部での現象であることがほとんどである。「大流行」などといつても() 十代後半から二十代前半の男女の一部に支持されたにすぎず、「世界的流行」がしよせん先進諸国の一定以上の経済力を持つ階層だけのものではあつたりする。そして、それ以上に重要なのは、ハヤリは() 過去の人々とは共有されていないという点である。流行の流行たるゆえんはその(シ)ンキセイにあるから、ある程度の時間を経たお持続している文化要素は、() 流行とは呼ばれない。ハヤリは、() 同時代人という集団の持つローカルな(正確にはテンポラリーな、といふべきだろう)文化なのである。

問一、——部(シ)(ウ)の漢字はその読み方をひらがなで、カタカナは漢字に直して記しなさい。

問二、——部(ア)(ウ)の言葉を文意に沿うように別の言葉で言い換えなさい。

問三、——部「シキタリは、○○のシキタリ」というぐあいに、ほとんどの場合、それを保持する集団を特定して言及される。」とあるが、本文中では具体的にどのような言及しているか一例を抜き出しなさい。

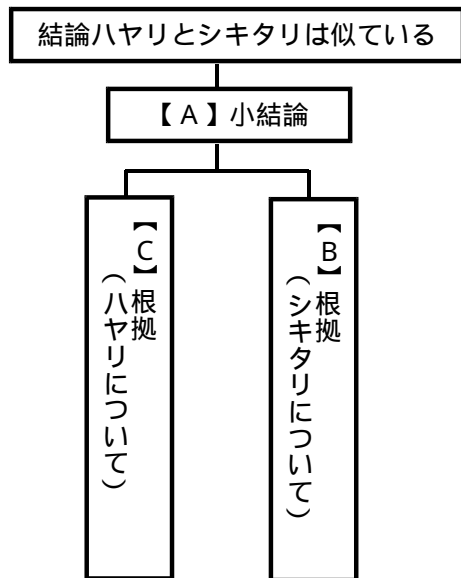
問三、——部「シキタリは、○○のシキタリ」というぐあいに、ほとんどの場合、それを保持する集団を特定して言及される。」とあるが、本文中では具体的にどのような言及しているか一例を抜き出しなさい。

問四、——部「農家にとつてはまったくばかげている」とあるが、その理由を記しなさい。

問五、() () () に当てはまる語を次から選び記号で答えなさい。

(イ) せいぜい (ロ) なによりも (ハ) もはや (ニ) 決して (ホ) あるいは

次の図は、の問題文の後半部分(一部改)の構成図である。構成図の【A】() 【C】に当てはまる文を後から選び記号() () で答えなさい。(構成図の一つの欄に複数当てはまる場合がある。)



現実に社会の中で正月に餅を食つことを保持し、継承させているのは、昔からそうしてきたのだ、というただ一つの理由なのである。

流行の外に身を置く者にはおよそ意味があるとは思えない非効率性・非経済的なモノや行動様式がハヤリである。

ハヤリとシキタリの共通点は、どちらも実利性や合理性では説明のできない行動様式を正当化することである。

あるものやことを選ぶのに合理的な説明がつかない場合に、その選択を最終的に説明するのは、「ハヤっているから。」のひと言である。

正月に餅を食べるとことさら健康増進によいわけでも、この時期、餅以外の食品が手に入らないわけでもない。

次の問題について後の問いに答えなさい。

つまり、シキタリもハヤリも、シキタリであること、ハヤリであること、そのこと自体で自分自身を（ ）する。その正当化の論理は、要するにそれがだれかとシキタリなら（ ）と、ハヤリなら（ ）

と 共有されているという点に尽きる。そして、そういう方法で正当化されるしかないのは、結局、その行動様式が合理性や実利性と（ア）乖離している、言葉を変えれば、なんらかの（イ）恣意性を内包しているからにはかならない。ハヤリやシキタリが特定の集団に閉じ込められて普遍性を持ちえないのも、つまりはここに理由がある。（合理的・実利的な行動様式は、早晚、ハヤリでもシキタリでもなくなる。）

シキタリを保持している集団がイエ（家）とか同族・ムラ・民族のように血縁でつながっていると思われているとき、行動様式を共有する先人たちは「（ ）」と呼ばれるだろう。会社や学校やクラブなら「（ ）」である。シキタリは、（ ）や（ ）たち以来の集団独自の約束事として、歴史的・持続的な集団のアイデンティティと結び付けられやすい。ハヤリは、模倣する相手を（ ）や（ ）から同時代の他者に置き換えることによって別の行動様式を持ち込むわけで、それゆえに、あるときにはシキタリに象徴される共同体の（ウ）桎梏からの解放と評価され、また維持すべき集団のアイデンティティの崩壊につながると（エ）危惧される。

文化は約束事の体系である。ハヤリとかシキタリという文化のあり方は、そのことを端的にわからせてくれる。

問一、（ ）に当てはまる語（漢字三字）を文中より抜き出さない。

問二、（ ）に当てはまる語を次から選び記号で答えなさい。

- （ア）同時代の人々 （イ）身近な人たち
- （ウ）遠い国の人々 （エ）過去の先人たち
- （オ）子孫 （カ）先祖 （キ）先輩 （ク）後輩

問三、――部（ア）（エ）の漢字の読み方をひらがなで記し、言葉の意味を文意に沿うように別の言葉で言い換えなさい。

問四、次の各文は事実か、意見か。

事実であれば「A」と、意見であれば「B」と記しなさい。

年取り魚として大みそかに鮭を食べるのは東日本のシキタリであって、関西や中四国・九州はそうではない。

ハヤリは過去の人々とは共有されていない戦前の農村の野辺送りの写真を見ると、特に女性たちは皆白無垢の着物に白いかぶり物をして加わっている。

神道式の神前結婚は、十九世紀の末に創出されたものである。

シキタリもハヤリも、シキタリであること、ハヤリであること、そのこと自体で自分自身を正当化する。

次の問題について後の問いに答えなさい。

昔、男ありけり。女のおえ（シ）得まじかりけるを、年を（ニ）経てよばひわたりけるを、からうじて盗み出でて、いと暗きに來けり。芥川といふ川を（オ）率て行きければ、草の上に置きたりける露を、（ ）かれは何ぞ。」となむ男に問ひける。行く先多く、夜も（シ）更けにければ、鬼ある所とも知らで、神さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、あばらなる倉に、女をば奥に押し入れて、男、弓、胡 を負ひて戸口に（オ）居り。 はや夜も明けなむと思ひつつめたりけるに、鬼はやひと口に食ひてけり。「あなや。」と言ひけれど、神鳴るさわざに、え聞かざりけり。やうやう夜も明けゆくに、見れば率て来し女もなし。足ずりをして泣けどもかひなし。

白玉か何ぞと人の問ひしとき露と答へて消えなましものを

問一、――部（シ）（オ）の漢字の読み方を現代かな遣いでひらがなで記しなさい。

問二、――部 「かれは何ぞ。」という会話の部分は「白玉か……」の歌でいうところの部分か。過不足なく抜き出しなさい。

問三、――部 「はや夜も明けなむ」、「え聞かざりけり」を口語訳しなさい。

問四、「白玉か……」の歌について、

- （１）「白玉」を現代の言葉で言い換えなさい。
- （２）「人」とは誰か。文中より抜き出しなさい。
- （３）どうして男は「露」と答えることができなかったのか。

昔、男ありけり。その男、身を（シ）えうなきものに思ひなして、「京にはあらじ。 東の方に住むべき国求めに。」とて行きけり。もとより友とする人、一人二人して行きけり。道知れる人もなくて、（オ）惑ひ行きけり。（ニ）三河の国八橋といふ所に至りぬ。そこを八橋といひけるは、水ゆく川の蜘蛛手なれば、橋を八つ渡せるによりてなむ、八橋といひける。その沢のほとりの木の陰に 下りあて、（シ）乾飯食ひけり。その沢にかきつばたいとおもしろく咲きたり。それを見て、ある人のいはく、「かきつばた、といふ 五文字を句の上に据え、旅の心を詠め。」と言ひければ、詠める。

からころもきつつなれにしつましあればはるきぬるたびをしそおもふと詠めりければ、みな人、乾飯の上に涙落としてほとびにけり。

問五、――部 「東の方」とは現代ではどの地域をいうのか。次から一つ選びなさい。

- （ア）滋賀県以東 （イ）愛知県以東
- （ウ）神奈川県以東 （エ）福島県以東

問六、――部 「下りあて」を何から「下り」たのかを入れて口語訳しなさい。

問七、――部 「五文字を句の上に据えて」について、

- （１）この技法を何というか。漢字を含め三字で記しなさい。
- （２）その「五文字」に を付けなさい。（解答欄にある歌に記すこと。）

問八、「からころも……」の歌について、「なれにしましあれば」は二通りに解釈できる。二種類の口語訳を記しなさい。

問九、――部 「みな人」とは誰か。文中より十字以内で抜き出しなさい。

問十、――部（シ）（オ）の読み方を現代かな遣いでひらがなで記しなさい。